

阿保氏館跡(児玉郡神川町)

右手曲がり角に館跡付近に建つ小さな社がある



左の石碑は江戸時代末に建てられた「阿保氏遺蹟之碑」



右手に説明板がある



安保氏館跡

昭和三十八年十月十日 町指定史跡

安保氏は、武蔵七党の一つ丹党に属す北武蔵の豪族で、鎌倉幕府の有力御家人「安保次郎実光」を祖とする。その所領については、『安保文書』に詳しく、賀美郡安保郷（大字元阿保周辺）を本貫地としていたようである。

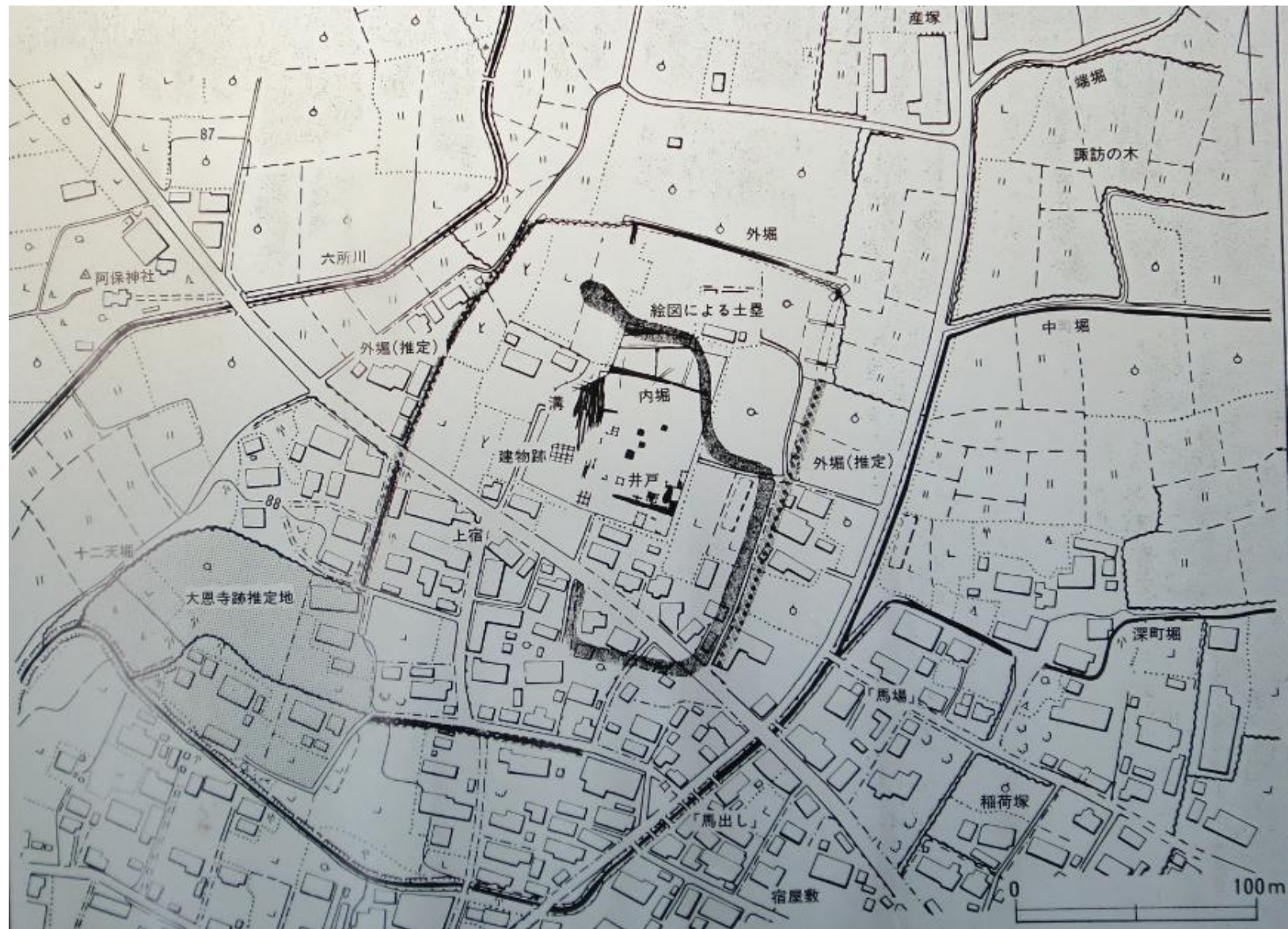
この館跡は、安保氏総領家の居住地として伝えられ、嘉永元年（一八四八）には、「阿保氏遺蹟之碑」が建てられている。館跡とされる範囲は、研究者により異なるが、十二天堀と



そこから分流した深町堀、中堀、端堀に囲まれた部分と考えられる。また、館の南西部は、大恩寺（安保泰規建立）跡と伝えている。館周辺にも関連した伝承が残り、馬場、馬出しとされる場所がある。尚、昭和六十三年と平成四年の発掘調査では、北面の外堀と内堀の一部、建物跡、井戸跡等が検出されている。

平成五年三月

神川町教育委員会



阿保氏遺蹟之碑









この社から館跡とされる範囲を見る



この正面範囲で館跡の北面の外堀と内堀の一部、建物跡、井戸跡塔が検出されたという



別の方角から館跡とされる範囲を見る



こちらの方角が大恩寺跡推定値



阿保氏館跡の少し北にある阿保神社



式内社を論ずる阿保神社





社殿



右手は本殿の覆屋となっている



さまざまな石祠があった













お約束の廃材置き場(再利用)



参考ホームページ

<http://hva34.sakura.ne.jp/titibu/abosiyakata/abosiyakataikou.html>

<http://hva34.sakura.ne.jp/titibu/abosiyakata/abositaterekisi.html>

<http://blogs.yahoo.co.jp/wamioda56/52987980.html>







赤+は説明板のある場所

付録

近くに延喜式内社と伝えられている今城青坂稲実池上神社があった



上記の阿保神社の裏に鎮座していたが1577年に阿保神社近くの関口村の鎮守として移されたという



石祠もあった





参考ホームページ

<http://www.geocities.jp/engisiki/musashi/bun/mus171004-02.html>